

第23回 全国街路事業コンクール

# 国土交通大臣賞

## 仙台市建設局道路部

### 川内南小泉線(安養寺工区)道路改築事業

都市名	仙台市	事業主体	宮城県仙台市
<b>事業概要</b> 本事業は、仙台市の骨格幹線道路を形成する3環状12放射状線のひとつである川内南小泉線の未整備区間、安養寺工区を整備したものである。本事業の完成により、既に供用済である区間とあわせて内環状線の一部を形成し、(主) 仙台泉線と(主) 仙台松島線が結節することにより、仙台市北部(青葉区台原)から東部(宮城野区幸町)までの移動時間が10分程度短縮したほか、仙台市東部と仙台市営地下鉄台原駅を結ぶバス路線が新設され、「せんだい都市交通プラン」に掲げた鉄道にバスが結節する、公共交通を中心とした交通体系の構築に寄与した。 また、本工区内で発見された遺跡(与兵衛沼窯跡)は、文化庁等より国史跡級との評価を得た貴重な遺跡であるため、構造形式を盛土から橋梁に変更して保護した。さらに小動物の路上事故防止対策として、道路境界部に進入防止柵を設置すると共に、切り土擁壁への緑化(植栽)ブロック採用、住宅地に近接した法面への雑草抑制効果がある景観植物による被覆など、周辺環境との調和を図った。 ○事業延長：1,722m ○幅員：36.0m(車道3.25m×4、歩道6.75m×2) ○事業費：約146億円 ○事業期間：平成2年度～平成21年度			
<b>表彰理由</b> 環状ルート形成により自動車交通の円滑化が図られたばかりでなく、地下鉄へ連絡するバス路線新設により市内交通の広範な交通改善に寄与したことが高い評価を得た。また、ゆとりある歩行者空間が確保されたことも評価された。 さらに、遺跡に対する対応や住宅地あるいは小動物に対する対応など施工面において、周辺環境へ極めて細かな配慮がなされたことも評価が高かった。			

- 盛土形式を橋梁形式に変更
- 簡易覆土による遺跡(与兵衛沼窯跡)



- 小動物の路上事故防止のため、道路境界部に進入防止柵を設置

